

第2号

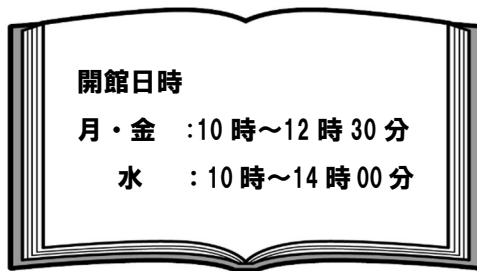
令和7年5月19日



地域開放図書館だより

札幌市立藤野小学校開放図書館運営委員会

本の宝箱だより



昭和の時代から100年 藤野小学校は開校50周年

札幌市立藤野小学校開放図書館 館長

桜を筆頭に、校庭の木々が咲きほころぶ季節となりました。ひと月前に入学した1年生は学校生活に少しずつ慣れ、元気に活動しています。グラウンドからは、運動会に向けた取組に汗をかく子どもたちの気合の入った元気な声が聞こえてきます。

そんなふじのこの笑顔とともに、開館42年目となる藤野小学校開放図書館「本の宝箱」がスタートいたしました。いつ来館しても、どなたが来館しても、新しい本との出会いや発見がある素敵な図書館、どなたにとっても居心地がよく通いたくなる図書館を目指して、開放司書の坂本さんと阪本さん、そしてたくさんの図書ボランティアの皆さんが日々協力くださり、図書館運営はもちろんのこと、魅力ある充実した読書環境づくりを行っていただいております。たいへん感謝しております。この場を借りましてお礼申し上げます。

さて、昭和50年11月に開校した藤野小学校は今年、開校してからちょうど50年目を迎えます。学校では、開校50周年式典・祝う会の挙行や航空写真撮影を行う計画を立てています。また、昨年度末には藤野小学校公式キャラクター「ふじコン」を制定し、今年度の主要行事には「開校50周年記念」と冠を付けて開催するなどして、50周年を盛り上げていくつもりです。昭和の時代から50年続く歴史ある藤野小学校の「50歳のお誕生日」を、子どもたちと一緒に何ができるかを考えながらお祝いしていきたいと思っています。ちなみに、「昭和」の時代が今も続いていたとすると、今年「昭和100年」に当たる年だそうです。（昭和100年＝開校50年目＝昭和50年 と開校した年が覚えやすいですね。）

話は変わりまして、今では当たり前前に書店等で手に入れることができる書籍ですが、昭和の前の時代まではたいへん高価で、書籍を読むことは一部の上流階級の文化・娯楽でしかなかったそうです。昭和の時代になってすぐ、出版業界の不況打開策として、文学や学術書の全集本が1円均一で出版・販売されたことをきっかけに、「円本（えんぼん）ブーム」というもの起こり、日本中で大流行したそうです。この流行が、書籍の大衆化に大きな影響を与え、現在の「読書習慣」が根付くきっかけとなったそうです。

この100年で日本は便利で快適な暮らしが当たり前になり、最近ではタブレットや電子書籍の台頭で、「本離れ」が加速していると聞きます。ですが、「紙の書籍であることのよさ」ももちろんあります。特に小学校段階では、物理的にページをめくることによる「読んでいる」という感覚の得やすさ、目への優しさ、読書計画の立てやすさ、そして何より、本を手にとった時の喜び・発見・満足感を大切にしていきたいと思っています。藤野小学校でも、円本ブームのような「読書ブーム」を起こしてみたいなあ、と密かに願っているところです。

今年度も、本校開放図書館「本の宝箱」に関わっていただく全ての皆さんのご理解、ご協力をいただきながら、充実した図書館運営を心掛けてまいります。「本の宝箱」へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



「ふじコン」は昨年度の6年生が、藤野をイメージしてつくったキャラクターです。まずは藤野小学校の公式キャラクターとして活動中です！



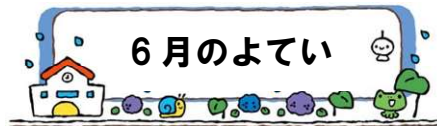
月	水	金
		2
5 こどもの日	7	9 遠足
12	14	16
19	21	23
26	28	30



☆5日 こどもの日の為閉館
☆9日 ふじのっこ遠足



月	水	金
2 振替休業日	4	6
9	11	13
16	18	20
23	25	27
30		



☆2日 学校行事振替休業日のため休館



1年生 図書館デビュー

1年生のみなさん、とし
よかんによろこそ！
これからたくさんの本をよんで
くださいね。

水曜日はしおりの日！
ボランティアの方たちが作った
しおりを1まいプレゼント！
気に入ったらしおりをゲットし
てね♪

新刊は読みましたか？
今年度もたくさんの新刊が出ま
す。気になる本がでるといいです
ね。新刊が出るときはお知らせし
ます。
楽しみにしていて下さい♪